

認定NPO法人 大阪被害者支援アドボカシーセンター
設立30周年記念被害者支援シンポジウム

これまでも これからも 犯罪被害者とともに

大阪被害者支援アドボカシーセンターは、1996年4月に前身の「大阪被害者相談室」として活動を開始以来、本年で丸30年となりました。この間、被害者等に寄り添うことをもっとも重視してきました。

今回のシンポジウムでは、奇しくも30年前に少年犯罪でご子息を亡くされ、その後、遺族の立場で被害者支援の拡充にご尽力されてきた武るり子氏、日本の被害者支援がまだまだ不十分だった時期から警察庁で法制度整備や施策の策定に関わってこられた安田貴彦氏をスピーカーに迎えます。お二方と当センターによる鼎談で、被害当事者、公的立場、民間被害者支援センターそれぞれの立場で30年を振り返るとともに、今後求められる被害者支援について考えていく場としていきます。

また、第2部は当センターのイメージソング「いつもそばにいるよ」を楽曲提供してくれたグループ「STAYG」（ステイジー）によるミニコンサートを行います。この曲は被害者遺族の詩を元に作詞作曲され、歌詞には被害者と支援者双方の想いが込められています。

日時 : 2026年11月29日（日）13:00～15:30（開場12:40）

場所 : 大阪市立阿倍野区民センター小ホール（裏面地図をご参照ください）

プログラム :

第1部 鼎談 「これまでも これからも 犯罪被害者とともに」

スピーカー 武 るり子氏（少年犯罪被害者遺族、少年犯罪被害当事者の会）

安田 貴彦氏（公益社団法人全国被害者支援ネットワーク顧問）

井上 尚美

（大阪被害者支援アドボカシーセンター理事・支援総括責任者）

第2部 ミニコンサート 「いつもそばにいるよ」

出演 STAYG（ステイジー）

定員 : 会場参加（先着300名）、参加費は無料です。

※ 会場には手話通訳が入ります。

共催：大阪府、大阪市、堺市、大阪府警察

後援：大阪府被害者支援会議、大阪私立中学校高等学校連合会、大阪府臨床心理士会、大阪弁護士会

お問い合わせ先 大阪被害者支援アドボカシーセンター
☎06-6771-7600



赤い羽根福祉基金 特別プログラム

「被害者やその家族等への支援活動助成」

スピーカープロフィール

武 るり子（たけ るりこ）

1996年11月に、当時高校1年生だった長男を、少年の一方的な暴力によって亡くす。
1997年には、事件に遭い、一家族では受けとめきれない大きな苦しみや悲しみを、同じ経験をしている人と分かち合いたいと「少年犯罪被害当事者の会」を設立し、現在まで、同会の代表として活動。
また、1999年から2025年にかけて、少年犯罪で失われた子供たちを追悼する集いである「Will」というシンポジウムを開催。その他、法制審議会や、更生保護の犯罪被害者等施策の在り方を考える検討委員、犯罪被害者等推進会議専門員なども歴任。

安田 貴彦（やすだ たかひこ）

1982年警察庁入庁。1991年、警察庁給与厚生課課長補佐として「犯罪被害給付制度10周年記念シンポジウム」を企画。2001年、警察庁犯罪被害者対策室長として犯罪被害者等給付金支給法（現在の「犯罪被害者等支援法」）の全面改正を実現。2016年、内閣府大臣官房審議官として第3次犯罪被害者等基本計画を取りまとめ。2017年、警察大学校長を最後に退官。現在も、公益社団法人全国被害者支援ネットワーク顧問、日本被害者学会副理事長として被害者支援に取り組む。

井上 尚美（いのうえ なおみ）

大阪被害者支援アドボカシーセンター理事、支援総括責任者

阿倍野区民センターへのアクセス

Osaka Metro谷町線「阿倍野」駅

⑥号出口から西へ50m

阪堺電車上町線「阿倍野」駅 南西へ180m

Osaka Metro御堂筋線「天王寺」駅 南へ800m

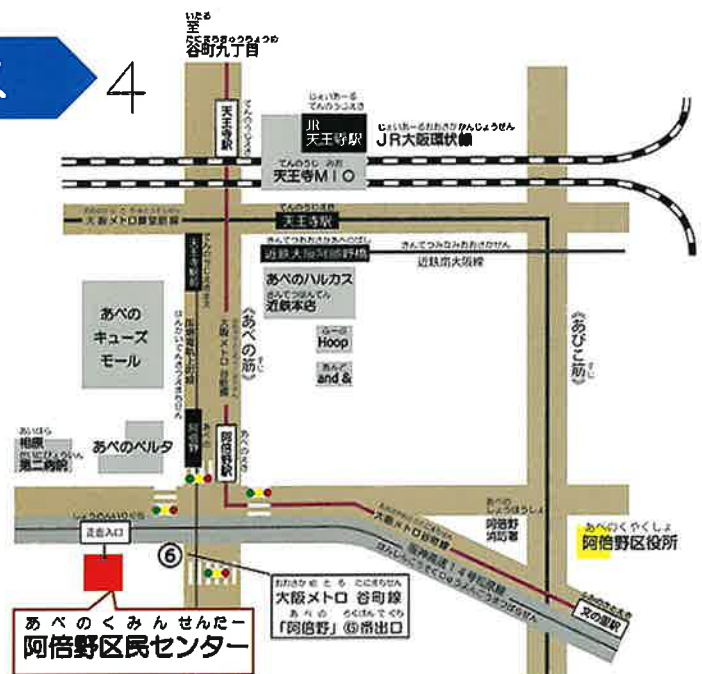
JR「天王寺」駅 南へ800m

近鉄南大阪線「大阪阿倍野橋」駅 南へ800m

〒545-0052

大阪市阿倍野区阿倍野筋4-19-118

☎ 06-4398-9877



参加について

※定員は300名です。当日、会場に直接お越しください。事前参加申し込みは不要です。

※シンポジウムの録音、録画、写真撮影についてはご遠慮願います。

※各種感染症予防のため、体調不良の方は入場をご遠慮ください。

お問い合わせは

認定NPO法人 大阪被害者支援アドボカシーセンター

☎ 06-6771-7600

大阪被害者支援アドボカシーセンターホームページ

<http://www.ovsac.jp/>

